

幸手市立八代小学校 学力保障グランドデザイン



学校教育目標

自ら進んで学ぶ子

心豊かで思いやりのある子

ねばり強く健康な子

学校研修課題

子どもが夢中になる、「もっと楽しい」体力向上につながる授業の創造

～「やってみよう」「できた」「またやりたい」を実感できる～体育科の学習を通して～

本年度の重点

- 1 基礎的・基本的な知識・技能の定着
- 2 課題解決能力の育成 (PBLの充実)
- 3 プレゼンテーション能力の育成

目標達成の指針

- 1 全国学力・学習状況調査【平均正答率】
- 2 埼玉県学力・学習状況調査
【学力が伸びた児童の割合】
- 3 幸手市統一学力調査【学力層】
- 4 幸手市統一確認テスト【平均正答率】
- 5 授業外の学力向上関連取組の日課表への位置づけ
【年間継続期間】
- 6 家庭学習強化期間の実施【各学期】

予測困難な時代を逞しく生き抜く「人財」づくりにつなげます。

学校の共通行動



「オモダカ・ルピナスプラン」による 真剣・集中の姿の深化、及び イノベーション力の育成

- 信頼・高潔な学校づくり (言語環境、共感)
- 学力向上の基盤となる総合的な力の育成
 - ・発信力と創造力
 - ・自己にとっての新しい発見
 - ・学校生活の充実
 - ・教員と学ぶ 子供と学ぶ 地域から学ぶ
- ・SDGsを踏まえた教育活動
- ・現状に満足しない、学び続ける意欲
- ・児童にとってのPDCAの涵養
- ※「幸せ教師五者」を踏まえた教育活動の実施
 - ・教育の専門家として高い自覚をもち、日々の指導を行い、「榮校」づくりの先駆者となる。
 - 【①指導者 ②伴走者 ③演出者 ④先導者 ⑤経営者】



確かな授業実践



- ※ 幸手市スタンダード授業V withGIGAの徹底
 - ・導入から終末までを見通した、幸手スタンダード授業V withGIGAを踏まえた授業づくり
 - ・学習指導案への位置づけ
- ※ 市教委と連携した学力向上プロジェクト
 - ・幸手市統一学力調査、確認テストの結果分析を踏まえた授業改善及び個別支援の実施
 - ・全国学調、県学調の分析による求められる育成すべき力の確認
- ※ PBLの実施とICTを利活用した分かる授業の実践
 - ・PBLを踏まえた授業づくり
 - ・タブレット端末の利活用スキル向上 (児童・教師) のための研修会の実施
 - ・CBT対策の実施
- ※ 一人一研究授業の実施による授業力向上



授業外での取組



日課表に位置づけた基礎・基本の定着に向けた通年の取組

- (1) 業前 20分間
 - ・読書タイム(火)【読書量の確保】
【学力向上】
 - ・チャレンジタイム【体力向上】
- (2) 5校時開始前 15分間
 - ・スキルアップタイム(火～木)
国語、算数を中心とした基礎基本問題への取組
【学力向上、及びICTスキルの向上】



漢字トライの実施(各学期)

- ・漢字のまとめテストを業前等に実施し、満点をとった児童を校長が表彰(表彰シール)する。
【学力・学習意欲の向上】

家庭・学校間連携



- ※ 家庭学習(宿題・自主学習)の習慣づけ
 - ・自主学習強化週間の設定
- ※ 「8つの種(学校・家庭・地域共同指導指標)」による児童への働きかけ
 - ・安心して学びに取り組める学校・家庭・地域環境の共有
- ※ タブレット端末利活用の充実
 - ・家庭における適切な管理依頼(毎日の持ち帰り、充電、通信環境、破損防止等)
 - ・家庭学習における個別最適な学び(課題別ドリル)
 - ・やむを得ず登校できない児童に対するオンライン授業の配信
 - ・PBLの家庭における理解
- ※ 東中学校区学力向上への取組
 - ・授業の相互参観、児童生徒に関する情報交換の実施

